

1 対象となる幼児児童生徒
重複障害生徒（肢体不自由）

2 教材を使用する活動
自立活動

3 ねらい

手の緊張が強く、拳の状態が続き開くことができない。そのため手のひらに汗をかいたり、指が強くい込んで傷をつけたりしてしまうため、緊張の回避や和らげることを目的に作成した。

教材の使い方	配慮点
<p>○緊張している手のひらに握らせ使用する</p> 	<p>○手のひらに握るクッションな感じにし、緊張がふと和らぐようにイルカや魚の形、目や口の刺繍を入れた。</p> <p>○タオル地素材で真ん中にポケットを作り、保冷剤や活性炭、ホッカイロなどが入れられるようにした。</p> <p>○Tシャツ生地で薄い意気地だが、生地が伸びるので他のものよりも大きめのものを入れることができる。</p> <p>○ハンドタオルで作っているのだからちょっと小さめ、しっぽにゴムをつけ巻き付けるようにした。</p> <p>○ハンドタオルで作成、頭と足をゴムで繋げて手にはめて落ちないようにした。手のひらを傷つけないように、ポケットにはマジックテープやボタンはつけないようにした。</p>